

令和2年度第2回みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年、対象教科、実施校数

対象学年	小学校第5学年、中学校第2学年
対象教科	国語、算数・数学
実施校数	小学校 第5学年 333校／346校（96.2%） 中学校 第2学年 137校／150校（91.3%）

※令和2年度第2回みえスタディ・チェックは、児童生徒や学校の状況に応じて実施できるよう、実施期間を柔軟に対応しました。

3 各教科の平均正答率・平均無解答率及び改善状況

(1) 平均正答率・平均無解答率

教科	小学校第5学年		中学校第2学年	
	平均正答率	平均無解答率	平均正答率	平均無解答率
国語	63.1%	4.46%	60.6%	4.75%
算数・数学	60.1%	3.39%	47.9%	9.78%

(2) 問題別の改善状況

① 第1回（4月実施）と同一の問題

《結果》

- ・国語では、主語と述語の照応に関する問題の改善が図られています。
- ・算数・数学では、小数の除法の意味、素数の積に関する問題の改善が図られています。

小学校 第5学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1二(1)1：文の主語を選択する	75.0%	65.2%	+9.8
	1三： 接続語を使って一文を二文に分ける	48.4%	27.8%	+20.6
算数	1(2)： 1.5÷3の式で求められる問題をすべて選択する	52.2%	47.4%	+4.8

中学校 第2学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1一： 主語と述語のつながりがあっていない文を正しく書き直す	55.0%	33.5%	+21.5
	1二： 指示された述語に対応する主語を選択する（複文）	45.4%	34.8%	+10.6
数学	1(3)： 30を素因数分解する	54.2%	48.7%	+5.5

② 過去からの改善が図られた主な問題

《結果》

- ・経年的に課題となっている、主語と述語の照応、 180° 以上の角の大きさを求める問題、資料の活用で改善が図られています。

小学校 第5学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1二(1)2：文の主語を選択する（複文）	57.9%	28.8%	+29.1
算数	2(1)： 180° 以上の角の大きさを求める	70.8%	56.5%	+14.3

中学校 第2学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1七：封筒の宛名を書く	64.0%	59.1%	+4.9
数学	1(7)：資料を整理した図から最頻値を読み取る	65.0%	42.9%	+22.1

③ 過去からの改善が図られなかった主な問題

《結果》

- ・国語では、文章から必要な情報を見つけたり、その内容をまとめたりすることに課題が見られます。
- ・算数では、基準量が比較量より大きい数の倍の計算に課題が見られます。
- ・数学では、指数を含む計算、等式変形等に課題が見られます。

小学校 第5学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	2二：新聞記事を書くために必要な情報を得るため、【資料】のどの段落を中心に読めばよいか選択する	67.2%	73.0%	-5.8
	2三(1)：筆者が自分の体験を交えながら書いているまとまりを選択する	52.8%	57.9%	-5.1
	4一：【文章の一部】から、新聞記事を書くために参考にした段落を選択する	72.2%	79.8%	-7.6
算数	2(3)：4は10の何倍かを求める	44.2%	—	—

中学校 第2学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	2二：【回答案A】の冒頭に一文を加え、回答案を完成させる	55.2%	63.9%	-8.7
	3二：筆者が心がけていることとその理由を、指定された語句を用いて記述する(50字～70字)	40.7%	48.8%	-8.1
数学	1(1)： $2 \times (-3)^2$ を計算する	84.5%	89.0%	-4.5
	1(5)：等式 $S = 1/2 ah$ を、 a について解く	45.3%	47.5%	-2.2